

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年6月30日

氏名			
所属	外国語学部 () 研究科	英語英文学科・専攻	4年次
派遣先大学	リエージュ州立大学校		10ヶ月間

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input checked="" type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど (1人部屋、シャワールーム、トイレ付き、約6畳)
3	入居時手続き	例: Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る (0階にあるオフィスにてデポジットを払い、鍵を受け取り、部屋の案内をもらった。)
4	費用 (月額)	260 (ユーロ) (食費 食費含む/月)
5	支払方法	一括払い (指定口座に振り込み) (例: 月ごとに現金で、クレジットカードなど)
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	例: 近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など (徒歩5分のところにスーパーあり。また15分のところに大きなスーパーもある。バス停は寮の目の前のためアクセスはいい。リエージュ guillemain 駅からはバスで約15分)
9	アクセス	例: 大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 (大学までは徒歩2分。バスの料金は一回2.5ユーロ)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(今後留学をする学生に対して): (全て整備されており、平日は3食付きのためしょくひがかからなかった。また、新築の寮であったため、非常にきれいだった。)
11	引越しされた方は引越し先の住居形態を記入してください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
12	詳細を教えてください	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど ()

II. 通信環境について（該当の項目を選択、または入力してください。）

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	例：ショッピングモールの電気屋に行きSIMを購入 (Amazonでヨーロッパ圏内で使えるSIMカードを購入していた。電話を使う場合はお金を払う必要があるため不便だったが、現地の携帯会社のSIMカードを買うよりお得だった。また、他の国でも使えるため便利であった。)
4	自宅のインターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）
5	大学内インターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均） ※現地通貨で記入。（ ）内に通貨単位を記入すること。		
1	宿舍費	260 (ユーロ) /月
2	食費	30 (ユーロ) /月
3	交通費	15 (ユーロ) /月
4	通信費	約6 (ユーロ) /月
5	娯楽費	30 (ユーロ) /月
6	図書費	0 (ユーロ) /合計
7	学用品（教科書など）	0 (ユーロ) /合計
8	被服費	200 (ユーロ) /合計
9	医療費	0 (ユーロ) /合計
10	雑費・その他	200 (ユーロ) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む） ※日本円または現地通貨で記入。		
11	出願料・宿舍デポジット	470 (ユーロ) /合計
12	ビザ申請関連費	205 (ユーロ) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	20万 (円) /往復
14	その他	() /合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	6000 (ユーロ) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：20000円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：イオン銀行） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> その他（クレジットカード）	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	手続き方法・利点・欠点	

19	お金に関するアドバイス (今後留学をする学生に対して)	国際キャッシュカードはがあると便利。現地での口座開設は時間もかかり、手続きが面倒なので、1年の留学ならいいが、半年の場合は必要ないと思う。
----	--------------------------------	---

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類（例：L2プラン）	c18 (10か月分で125036円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	(2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けなかった
4	(3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか？	選択してください。 その他 ()
5	(4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか？	
6	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	自分が普段利用している薬は使用頻度が少ないとしても持参する方がよい。現地でもよい薬はあると思うが、やはり日本の飲みなれたものの方が、安心して飲むことが出来る。

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 服、靴、ティッシュ、サランラップ、
2	現地で購入したもの ほぼすべてのもの（特に日本から持っていく必要はないと感じた。）
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの レトルトのご飯

VI. 留学先で困ったこと

特になかった。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

帰りの荷物が増えるので日本から持っていくものは最低限にする方がいい。また、この寮は非常に住みやすく、食事もしっかりしていておいしいし、コーディネーターの方が非常に親切なので、病院への送り迎えなど困ったことがあれば何でも手伝ってくれるので、生活する上で困ることはなかった。

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舎などの写真）を添付して提出してください。

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	英語英文学科	4 年次
氏 名				
派遣先大学 (国)	リエージュ州立大学校 (ベルギー)			
所属プログラム・ 学部・研究科	International marketing, communication	履修言語	フランス語	
留学期間	2018 年 9 月～2019 年 6 月			
報告書提出日	2019 年 7 月 14 日			

学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
【記入例】 Fall Semester	9 月 21 日 ～1 月 21 日 (14 週)	1 月 24 日 ～2 月 1 日	英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の 1 週間は履修登録を加除できる。XX 先生に相談し、……
First Semester	9 月 14 日 ～12 月 14 日 (14 週)	1 月 7 日 ～1 月 25 日	留学前に仮登録した授業が反映されている。最初の 1 カ月間は履修登録を加除できるので、実際に受けてみて履修したいものだけにした。
Second Semester	2 月 4 日 ～5 月 17 日 (13 週)	5 月 27 日 ～6 月 14 日	前期同様、自分で好きな授業を選び、国際センターの担当の方へ報告した。また、様々な学部から授業を選ぶことも出来た。

1.2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。
【記入例】 Fall Semester	International relations IIB	30 時間	講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。 合計時間の計算方法は【⑥】 【参考資料】 授業時間数について
		1 (時間/回)	
		× 3(回/週)	

		× 10(週)	て]をご参照ください。
First Semester	French	56 時間	初めにレベル分けの授業があり、簡単な自己紹介をし、先生が3つのグループに分けた。授業は、週に2回、2時間だった。基礎的なことから始まり、スピーキングがメインで、時々、課題で簡単な作文があった。期末試験は、スピーキング、ライティング、リスニングだった。
		2(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	
First Semester	English	56 時間	International Marketing の英語の授業だったため、ビジネス英語がメインだった。授業内では、ビジネス関連の英文テキストを読んだり、交渉のロールプレイをしたりした。期末テストは、授業で扱った単語を問う問題が多かった。
		2(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	
First Semester	Cross Culture	28 時間	講義内容は、異文化コミュニケーションに近いものだった。異文化の壁を乗り越えてどのように貿易をするかという知識を得ることが出来た。期末テストでは、選択問題だったため、簡単だった。
		2(時間/回) × 1(回/週) × 14(週)	
First Semester	Geopolitics (9/14~10/26)	28 時間	授業前半は、講義形式、後半は、各自の発表であった。まず、前半の講義では、世界各地の紛争についての説明があった。後半の発表では、決められたテーマ(世界の紛争)からひとつ好きなテーマを選び、15分程度の発表をし、質疑応答を行った。また、この発表が期末テストの代わりとなった。
	(11/5~12/14)	14 時間 2(時間/回) × 1(回/週) × 7(週)	
First Semester	Spanish (9/14~10/26)	14 時間	授業前半は、先生の体調が優れなかったため、殆ど授業がなかった。授業後半では、基礎的な文法から始まり、最終的には、スペイン語圏の文化と自分の国の文化を比べた作文などを書いたり、話したりする授業となった。 期末試験では、授業で扱った文法、単語を問う問題が出題された。
	Spanish (11/5~12/14)	2(時間/回) × 1(回/週) × 7(週) 28 時間 2(時間/回) × 2(回/週) × 7(週)	
Second	Histoire	24 時間	映画の誕生から現在の映画までを扱う、映画の歴史に関する

Semester	de Cinema (2/4~3/15)	2(時間/回) × 2(回/週) × 6(週)	る講義だった。古い映画を観賞する授業などもあり非常に楽しかった。また、ヨーロッパの映画を主に扱うため、知らないことが多く興味深い講義であった。
----------	-------------------------	-------------------------------	---

	Histoire de Cinema (3/18~5/17)	14 時間 2(時間/回) × 1(回/週) × 7(週)	期末試験では、今までに扱った範囲から「○○とはなにか」というようなことが聞かれ、論述する問題が多かった。
Second Semester	Histoire economique et sociale depuis le 20e siecle (3/18~5/17)	42 時間 2(時間/回) × 3(回/週) × 7(週)	ヨーロッパの 20 世紀の歴史を知ることが出来る講義であった。しかし、主に、経済・社会に関する事なので、社会保障や、法律などに関することが多くフランス語で講義を受けるには難しかった。期末試験は論述問題で、2, 3 行では説明が出来ないような問題が多く出題された。
Second Semester	French	78 時間 2(時間/回) × 3(回/週) × 13(週)	前期に引き続き、基礎的な文法を勉強しながら、スピーキングやライティングをした。ほぼ、全ての文法を勉強し終わったので、様々なことを言えるようになった。期末テストは、前期同様、スピーキング、ライティング、リスニングだった。
Second Semester	English	52 時間 2(時間/回) × 2(回/週) × 13(週)	前期同様、ビジネス英語を勉強した。後期では、交渉・英語での履歴書づくり・インターンの面接などを行った。これらは、実際の企業の方を交えて行われたため、実際の緊張感を味わうことも出来、企業の方からのアドバイスは非常にためになるものばかりであった。期末テストは前期と同様であった。

※表の行が足りない場合は、必要な分だけコピー&ペーストで増やしてください。

2. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について（授業全般を通して記入）

前期の授業は、英語での授業だったため、ノートをきちんととり、知らなかった単語は音だけでもメモしておき必ず調べるようにしました。また、予習よりも復習に力を入れ、出来る限りその日のうちに整理をしてわからないところがないようにしておきました。

後期の授業は、フランス語での授業だったため、ノートをとることよりも授業をきちんと聞くことに集中しました。授業後には、現地の学生のノートを借りその日のうちに復習をし、わからないところはすぐに聞くようにしました。

1.3. 語学力について（留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入）

英語に関しては、スピーキングに自信がなかったのですが、寮での生活を通して日常会話に対する不安はなくなりました。また、ビジネス英語の授業を履修したことで、交渉術や専門用語などを知ることが出来たため、ビジネス英語に関しても知識を得ることが出来ました。

フランス語に関しては、日常会話レベルはできるようになりました。フランス語の授業のみならず、フランス人の友人との会話を通しフランス語を積極的に使うなど、学んだことを積極的に使うことで、定着させることが出来たと思います。

1.4. 研究について（※大学院生のみ記入）

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

所属した学部が全く異なる学部だったため、専門用語など基本的な知識がない状態で履修することは難しかったです。また、ビジネス英語の授業では、実践的な授業が多く、交渉の仕方なども知らなかったため、突然交渉をするよう言われた際はうまくいかず悔しい思いをしました。しかし、回数を重ね、他の生徒を参考にしながら、自分なりにどうしたらよいかを考えることで、最終的には自分でも納得のいくものとなりました。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

フランス語をもっと積極的に使いたかったです。ボキャブラリー不足から、すぐに英語を使ってしまいうことが多かったです。英語に頼らないようにと、心掛けてはいましたが、英語のほうが楽に感じてしまい、英語に頼りがちでした。英語に頼らず、もっと積極的にボキャブラリーを増やし、フランス語を使っていけば、もっと話せるようになっていたのではないかと後悔しています。英語圏以外へ留学を考えている方は、英語、日本語を使わず、現地の言葉を積極的に使うようにしない限り、その言語を話せるようになるのは難しいと思います。ですので、積極的に使うようにしてほしいです。

2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

コミュニケーション力が高まったと感じています。英語での日常会話もスムーズに出来るようになり、初対面の人とも積極的に会話が出来ようになりました。また、共同生活を通して、少しのことなら気にならなくなりました。以前から、様々な考え方を寛大に受け止めるようにはしていましたが、留学を通して、さらに様々な考え方を受け入れることが出来るようになったと感じています。

また、日本人だから～というような考え方はしなくなりました。国籍で分けるのではなく、その人個人で考えることが出来るようになったと感じています。

この留学を通して、さらに異文化理解を深めることが出来ました。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス（内容ごとに項目を分けて記入）

自分の考えをしっかりと持って他の留学生たちと関わることが少なかったです。なので、意見を求められると困ってしまい、なんでもいいという返し方しかできなかったです。自分の意見をしっかり伝えるよう、心掛けてはいましたが、日本での生活においても、自分の意見を明確に持って発言することが少なかったため、突然変えることは難しかったです。しかし、外国の方たちは、自分の意思を強く持っているため、何でもいいとばかり言っていると、いつも話し合いに参加してくれない、自分たちとは関わりたくないのかもしれない、という風に思われてしまい、そこで勘違いが生まれてしまうので、自分の意思をはっきり持って、留学生活を送るべきだと感じました。

※作成できましたら国際センターまで、Feelnoteのプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留学修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。